


# 指定文化財等台帳（市指定文化財）

名称	きょうほうじゅういちねんせんぼくぐんくのみむら 享保十一年仙北郡国見村 うちめはたけかえしんかいおんけんちやちよう 打拔畠返新開御検地野帳	員数	1冊	
分類（種別）	有形文化財（歴史資料）	指定番号	歴6	
指定等年月日	平成元年4月1日	時代	江戸時代	
構造・形式等				
概要	<p>検地とは、中世から近世にかけて行われた田畑の面積と収量の調査のことで、現在の地籍調査や課税台帳整備に当たるものである。この検地帳は、享保11年（1726）の検地帳である。旧小松稔家は永く肝煎を務め、国見下関村をとりまとめた。代々各種の古文書を大切に保管しており、貴重な資料となっている。</p>			
所在地	大仙市太田町国見字小泉 地内（太田地域）		標柱関連情報	
所有者	個人所有		標柱の有無	あり      なし
所有者の住所			材質	石柱      木柱
管理責任者				その他（      ）
管理責任者の住所			建立者	
備考			建立年月日	
※ 詳しくは標柱台帳を参照のこと				